

校長室だより 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

暑中お見舞い

暑中お見舞い申し上げます。・・・・・・
 ・・・・今年から、春日小学校にいらっ
 しゃるんですね。今度は、春日小学校の
 ホームページで校長室だよりを見ることが
 できて、とてもうれしいです。
 僕は、3月に中学校を卒業して、今は
 高校へ行っています。

8年前に出会った子でした。当時小学3
 年生でした。

学校に思うように行けなくて、学校に來
 ても教室には行けなくて・・・。母親の気
 持ちが分かっている、どうしようもなく
 して。学校に來た日は校長室で過ごしてい
 ました。お話上手で、楽しい子でした。

お母さんは悩んでいらっしやいました。
 こんな日がいつまで続くのだろうか。
 でも時は必ず子供を成長させるんですね。
 「僕は、3月に中学校を卒業して、今は高
 校へ行っています。」

なんと誇らしげなこの一言。
 今夏の猛暑を吹き飛ばすお便りでした。

残暑お見舞い

残暑お見舞い申し上げます。校長先生
 お元気ですか。ぼくは、八女市星野村に
 行ってきました。この葉書はぼくの手作
 りです。8月29日、学校に行くのを楽
 しみにしています。

5年生の男の子からのお便りです。

手すきの和紙で作った1枚の葉書。和紙
 の中に可愛らしい野の草がすきこんであり
 ます。なかなかの出来栄え。

手の込んだ葉書ですから、そんなにたく
 さんは作れなかったはず。その中の1
 枚を私宛のお便りにしてくれたと思うと、
 この葉書がとっても大切なものに思えてな
 りません。

星野村の森のすがすがしい風が、そして、
 家族の笑顔が・・・・。この1枚のお便り
 から伝わってきます。

「8月29日、学校に行くのを楽しみにし
 ています。」

そして、この一言に元気をもらいました。



終わらざる夏

夏休みに読んだ、浅田次郎さんの本
 です。

終戦を迎える夏を舞台にしたお話。
 心に響く言葉がちりばめられた小説で
 した。少しばかり紹介させて下さい。

母が疎開先の息子に宛てた手紙です。
 「・・・・・・つらいこともさぞ多
 いでしょうが、つらい分だけ楽しいこ
 ともあるはずですよ。つらいばかりが
 気になって、楽しいことを忘れてしま
 わないようにネ。不平不満の正体はソ
 レですから。」

私たちは、不幸に出会うと、そのと
 たんに、今までいただいていたたくさ
 んの小さな幸せを忘れてしまいます。

どんな時でも、いただいた小さな幸
 せを見失わなければ「不平不満」は生
 まれないということか・・・・。と、寝
 苦しい夏の夜に一人本を読みながら、
 自分がいただいた小さな幸せを数えて
 みたのですが・・・・。

「う～、暑い！」

終わらざる宿題

追い込みの 宿題算数 ママ苦手
 夏休み 工作競う 親のウデ

ネットで見つけた川
 柳です。我が家の遠い
 昔を思い出すなあ。



